



2月11日のおひな様始祭のパレードと、2月16日の「堀と道」グリーンアップ大作戦に参加予定なんだこぼお〜。みんな来てほしいこぼお〜、待ってるこぼお〜!!

柳川市マスコットキャラクター「こぼりー」



参加者全員で暴力団追放のシュプレヒコール

## 警察や行政、住民などが一致団結

### 第6回柳川市・みやま市暴力団追放総決起大会

地域から暴力団を追放しようと1月18日、市民会館で、暴力団追放！地域決起会議（筑後地区）柳川市・みやま市暴力団追放総決起大会を開催しました。県警本部の清水勝喜管理官による県下の暴力団情勢についての説明や、九州弁護士連合会の堀内恭彦弁護士が、暴力団対策などを講話。この後、参加者全員で安全で安心な社会実現のため、暴力団追放に一致団結するなどの共同アピールを採択し、シュプレヒコールを唱和しました。

## 中町えびすで商売繁盛

### 中町えびす祭を前に七福神が練り歩く

1月14日に開かれる中町えびす祭を前に、13日、中町の商店主らが七福神にふんして、柳川商店街を練り歩きました。家内安全や商売繁盛などを祈願しながら、同祭の宣伝を兼ねて行われる活動は、20年ほど前から行われており、福を呼ぶと好評です。商店主らは七福神になりきり、商店街の店舗を訪問。店内で「わっはっは。わっはっは」と大きな笑い声を響かせ、福を届けるとともに、地域住民との交流を深めました。



店主らによる七福神の笑いが福を呼ぶ



仲良しの友人と一緒に、ハイ、ポーズ

# 市民のひろば

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## 友人たちと大人の第一歩

### 平成26年柳川市成人式

市は1月12日、市民会館で成人式を催しました。今年の新成人は695人。着物やスーツなどの晴れ着に身を包んだ新成人は、式典の1時間以上前から会場に集まり、友人と久しぶりの再会を楽しんでいました。式典では、金子市長が「友達を大切にしてください」などと式辞。新成人の主張で藤木仁宗さんが「夢や目標を持って、常に努力することが大切」など成人としての決意を述べました。その後のアトラクションでは、恩師からのビデオレターの披露などがあり、大いに盛り上がりました。

## 五穀豊穡、無病息災を祈る

### 市内各地でほんげんぎょう

正月の伝統行事、ほんげんぎょうが、1月上旬から中旬にかけて市内各地で行われました。全国では「左義長」「どんど焼き」などと呼ばれる小正月の火祭り、五穀豊穡や無病息災を祈ります。

今古賀地区では、公民館主催で1月6日にほんげんぎょうを行いました。地区内の児童や保護者ら約50人が、前日にわらと竹で作った約10mのやぐらを設置。稲の刈り取り跡が残る田んぼで、児童が午後5時に火をつけるとやぐらは一気に炎に包まれました。



住民が見守る中、勢いよく燃えるやぐら

## 初めてのバイオリンに歓喜

### 有明小学校 アクロス学校キャラバン

児童に音楽の楽しさを体験してもらおうと1月17日、有明小学校でアクロス・学校キャラバン「せいじ先生のバイオリン教室」が行われました。講師は、ともに世界的な演奏者であるバイオリニストの景山誠治さんとピアニストの田中美江さん。児童たちは、バイオリンが4枚の木の板からできていることや、弦にはヒツジの腸が使われていることなどを学習後、バイオリンを手にとって演奏しました。演奏した児童は「思ったより難しくて、音が上手に出せなかった」などと感想を述べました。



世界的なバイオリニストが直接指導

水も人も  
キラリ

川柳

今月の入選作品・課題「続く」

応募総数152句

### 孫と風呂お伽の続き語り合おう

藤吉トシ子（佃町）

孫の体をよく温めるつもりで始めたおばあちゃんのお伽話。一通り終わればこれからはふたりの創作劇場。歓声とお湯を揺らす音がこちらの部屋まで。小さな孫の手を慈しみながらこの子らの平穏な日々を願う湯気の中。春はもうすぐそこまで。 流青

乗り換えし接続線は客疎ら  
粉雪の中に地蔵は立ち続け  
大寒や続けて老いの野辺送り  
この道は極楽浄土へ続くかな  
その続き聞きたいお茶を淹れかえる  
ふるさとへ続く真白き飛行雲  
雪道もやがて春へと続く道  
リハビリを続けて光り見つけたり  
味噌作り祖母から続く秘伝です  
気概まだ持つてこの道突き進む  
春寒や続けて下る炬燵舟  
身のまわりできる幸せ五年後も  
明日へと続く朝日が昇り来る  
思い出は梅咲き香る里の道  
グラウンドに練習続く夕の空  
どこまでも続く世界の地平線  
大人への道へと続く誕生日  
勉強のおかげでつづく道がある  
長き旅自分探しの旅続く

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。3月の課題は「紙」です。入選作品は3月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報係（☎77・8425、FAX74・5520）へ、2月15日（必着）までにお送りください。

紙の雪ほどの軽さで生きる母

流青